

病理組織検査				P000001	
				担当部署	
組織診				病理	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		該当なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示②→病理組織検査→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		組織摘出（採取）後から 10%中性緩衝ホルマリン固定に至るまで時間を要したもの（通常は摘出後ただちにホルマリン固定を行う）			
検査受付時間		8 : 15～16 : 00			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		手術、及び内視鏡、穿刺等の侵襲的検体採取では様々な準備が必要となるため、各々の担当医師、担当看護師等の指示に従う。			
検体採取の特別なタイミング		特記事項無し			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	組織	バイオシャトル	10%中性緩衝ホルマリン	該当なし	該当なし
2	組織	各種タッパー	10%中性緩衝ホルマリン	該当なし	該当なし
3	組織	カップ	10%中性緩衝ホルマリン	該当なし	該当なし
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1) オーダーラベルがない 2) 未固定の組織 3) 微小で肉眼で確認できない組織			
保管検体の保存期間		1) ホルマリンに浸かった臓器：1 年 2) パラフィンブロック：半永久 3) スライドガラス：半永久			

		* 保管検体から再検査をオーダーする場合は要連絡				
検査結果・報告						
検査室の所在地		病院棟 3 階 病理診断科				
測定時間		4 日～28 日				
生物学的基準範囲		該当なし				
臨床判断値		該当なし				
基準値					単位	該当なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	
パニック値	高値	該当なし				
	低値	該当なし				
生理的変動要因		該当なし				
臨床的意義		組織および細胞に生じる器質的あるいは機能的な変化を直接観察することができる。悪性腫瘍の場合に代表されるように、病理診断はしばしば臨床診断を最終的に確定する。薄切不良、染色不良の標本は過剰診断のもととなる。検体提出から病理診断に至るまでの過程を理解する必要がある。臨床検査提要改定第 34 版 1315,1316,1372				